

# バランスシートをつくりました

## バランスシートとは

バランスシートは企業会計で用いられる貸借対照表のことで、ある一定時点の資産と負債を総括的に表したものです。

資産と負債が一目で

鳥取市をはじめ全国の自治体では、前ページの決算報告のように、一年間の予算執行や資金（現金）の流れに重点を置いて会計処理を行っています。この方法では、その年にどのような収入があり、そ

れがどのように使われたのかは分かりませんが、これまで作られた道路や公園、学校などの資産や、その財源を調達するための負債（借金）、正味資産（資本）などについてはよく分かりません。

バランスシートでは、これまでどれくらいの資産を形成したのか、それが現在どのようになっているのか、またその資産はどういう財源でまかなっているのかなどが一目で分かるようになっていきます。

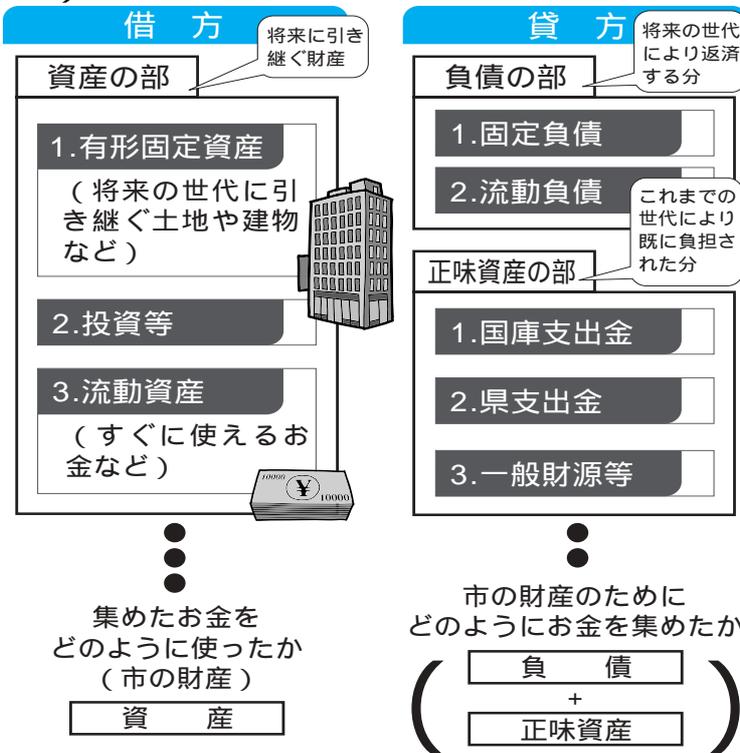
### 普通会計が対象

鳥取市において普通会計の対象となるのは、一般会計に特別会計の住宅新築資金等貸付事業費、高齢者・障害者住宅整備資金貸付事業費、墓苑事業費、土地取得費と、土地区画整備費の一部を加えたものです。

3111)

問い合わせ先 財政課（20

（表5）



## 社会資産形成の世代間負担比率

$$\frac{\text{正味資産合計 (137,730百万円)}}{\text{有形固定資産合計 (197,596百万円)}} = 69.7\% \text{ (平成12年度69.9\%)}$$

道路や学校などの社会資本の整備の結果を示す有形固定資産のうち、正味資産による整備の割合を示すものです。この比率が高いほど、これまでの世代の負担してきた割合が高いことになり、財政の健全性から見地からは好ましいという見方もできます。

人口類似都市（帯広市、上越市、松本市、米子市、山口市）の平成12年度の平均比率は65.4%となっています。

## 予算額対資産比率

$$\frac{\text{資産合計 (226,141百万円)}}{\text{13年度の普通会計における歳入総額 (64,324百万円)}} = 3.5\text{年 (平成12年度3.2年)}$$

13年度の歳入総額に対する資産の比率により、ストックである資産の形成に何年分の歳入が充当されたのかを見ることができます。年数が多いほど、すでに社会資本整備が進んでいると考えられます。

人口類似都市の平成12年度の平均比率は3.0年となっています。

